

平成23年度 施策評価

整理番号 35

内部評価結果

施策名	消防・防災体制の強化
-----	------------

代表部局	代表部局長の氏名
企画総務部	渡部 貴徳

1. 総合計画(後期基本計画)

基本方針	(政策)	うらおい安全都市	計画項目	(施策)	消防・防災体制の強化
施策目的	(何を対象に、どのような状態にしたいのか)	1.常備消防として、車両資機材の整備と職員の資質の向上を図り、市民の安心安全に応えることを目指す。緊急消防援助隊として、全国的な相互応援体制に寄与することも求められている。 2.地域に根ざした消防団として、消防団活動に参加しやすい環境整備と活動内容を再検討するとともに、より実践的な組織を目指した組織体制の再編成を行うことで消防・防災能力の充実に取り組み、市民の安心安全を目指す。 3.これまでの災害対策に加え、東日本大震災で露呈した地震津波及び原子力発電所事故等に係る避難対策などに取り組み、市民の安心安全確保を目指す。			

2. めざす目標

めざす目標	指標名	総合計画策定時 (H17)		後期基本計画策定時 (H20)		平成22年度実績値 (現状)		目標 (H26)	
		年度	年度	年度	年度	年度	年度		
消防設備を充実します	防火水槽(40t有蓋)	558基	H16 579基	H20 585基	H22 603基	H26			
防災体制を強化します	自主防災組織	5団体	H16 74団体	H20 98団体	H22 180団体	H26			
	災害時応援協定団体	1団体	H16 48団体	H20 52団体	H22 60団体	H26			

3. 評価結果一覧

施策方針	事務事業 事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		評価結果											
			H22決算額	H23予算額(一般財源)	事務事業評価							施策評価				
					根拠法令	財政負担	事業種別	対象	実施手法	関与必要性 数値	説明	今後の方向性	施策貢献度	今後の方向性		
1 消防本部体制の強化	1 消防本部総務業務 365日24時間体制の常備消防活動を維持運用(消防吏員93人、事務吏員1人、計94人)	消防本部	8,400	8,993(8,993)	なし	単費	内部管理	-	-	-	-	-	-	-	A	縮小
	2 救急救命士養成業務 救急救命士の計画的な養成(年1人、運用17人)、気管挿管が可能な認定救命士の養成(現在7人)	消防本部	4,146	2,998(2,998)	国規定	単費	内部管理	-	-	-	-	-	-	-	AA	現状維持
	3 消防学校等研修派遣業務 府立消防学校・消防大学校専科教育・各種研修会等に計画的に受講(受講者数29人)	消防本部	3,152	3,879(3,879)	義務	単費	-	-	-	-	-	-	-	-	AA	現状維持
	4 予防・警防等業務 住宅用火災警報器普及、火災予防チラシ等の作成、防火講習会、立ち入り検査等の実施	消防本部	5,169	5,056(3,836)	義務	単費	-	-	-	-	-	-	-	-	AA	現状維持
	5 救急活動業務 24時間体制の救急活動及び資機材の整備・保守(救急出動2,450件、搬送人員2,303人)	消防本部	6,064	6,667(6,667)	義務	単費	-	-	-	-	-	-	-	-	AA	現状維持
	6 救命啓発業務 応急手当の正しい知識と技術の普及(救命講習会の開催、「救マーク認定事業所」の認定)	消防本部	97	-	国規定	単費	サービス	市民	直	6	生命財産 権利保護	統合 (整理)	-	-	A	統合 (整理)
	7 通信指令業務 119番通信指令システムの適切な保守・維持管理	消防本部	27,856	21,617(21,598)	義務	単費	-	-	-	-	-	-	-	-	AA	現状維持
	8 庁舎等維持管理事業 消防庁舎、消防車両等の維持管理及び保守点検(消防本部他3署所 車両18台)	消防本部	17,273	15,847(15,682)	なし	単費	内部管理	-	-	-	-	-	-	-	A	現状維持
2 消防団の強化	1 消防車両等整備事業 消防団消防車両の新築(1棟[鉄骨2階建、延床面積82.88㎡])	総務課	18,361	-	なし	府・一部	施設整備	団体	直・委	6	生命財産 権利保護	現状維持	-	-	A	現状維持
	2 消防設備維持管理事業 消火栓の維持管理費として、設置箇所数に応じて水道事業会計・簡易水道事業特別会計へ繰出	総務課	16,143	17,340(17,340)	義務	単費	-	-	-	-	-	-	-	-	A	拡大
	3 消防団活動運営事業 消防団の組織運営(団員1,756人)、消防車両等の保守管理(車両88台、車庫120か所)	総務課	130,916	119,517(119,517)	市規定	単費	サービス	団体	直・委・補・負	6	生命財産 権利保護	現状維持	-	-	AA	縮小
	4 団員退職報償金 5年以上在職して退職した消防団員に対する慰労金の支給(173人)及び掛金の納入	総務課	84,345	34,656(34,656)	義務	単費	-	-	-	-	-	-	-	-	A	現状維持
	5 公務災害補償費等 公務上で災害を受けた消防団員等に対する災害補償(団員4人・消火協力者1人)	総務課	3,792	3,713(3,713)	義務	単費	-	-	-	-	-	-	-	-	A	現状維持
	6 団員報酬 消防団条例に基づき、階級ごとに報酬を支給	総務課	43,804	44,393(44,393)	市規定	単費	内部管理	-	-	-	-	-	-	-	AA	現状維持
	7 消火栓ボックス等整備事業 消火栓ボックスの新設や消火栓備品の整備(ボックス格納箱38台、ボックス80本他)	総務課	1,694	-	なし	単費	維持管理	市民	直	6	生命財産 権利保護	現状維持	-	-	A	現状維持
	8 消火栓設置事業 地区要望及び周辺の水利状況等を考慮し、消火栓を新設(地下式3基)	総務課	1,350	33,850(750)	義務	単費	-	-	-	-	-	-	-	-	AA	現状維持
	9 消防資機材等整備事業 市消防団小型動力ポンプの購入(更新B-3級1台)	総務課	1,402	-	なし	単費	施設整備	団体	直	6	生命財産 権利保護	休止	-	-	B	休止
5 危険箇所解消による防災対策	1 急傾斜地崩壊対策事業 京都府が実施した急傾斜地崩壊対策工事の負担金(5箇所)	管理課	28,242	17,000(500)	義務	単費	-	-	-	-	-	-	-	AA	現状維持	
6 災害情報の発信	1 防災行政無線維持管理事業(繰越) 消防庁のシステム改修に伴う緊急情報自動起動機及び小型受信機の更新	総務課	4,305	-	なし	国等全額	施設整備	市民	直	6	生命財産 権利保護	終了・廃止	-	-	A	終了・廃止
	2 防災行政無線維持管理事業 防災行政無線施設及び設備の保守点検・維持管理(戸別受信機利用台数 19,232台)	総務課	42,091	34,924(14,924)	市規定	単費	維持管理	市民	直・委	6	生命財産 権利保護	現状維持	-	-	AA	現状維持
8 危機管理体制の強化	1 国民保護対策経費 京丹後市防災会議・国民保護協議会合同会議の開催	総務課	4	66(66)	義務	単費	-	-	-	-	-	-	-	-	B	現状維持
	2 防災会議運営事業 京丹後市防災会議の開催(3月18日開催 議題:防災計画の修正、東日本大震災の対応)	総務課	35	156(156)	義務	単費	-	-	-	-	-	-	-	-	B	現状維持
計			448,641	370,672(299,668)												

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	02消防本部総務業務
細事業名	01 消防本部総務業務			決算書 P.288
総合計画	基本方針	うらおい安全都市	計画項目	消防・防災体制の強化
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率
8,400千円		8,702千円	302千円	96.5%
目的	365日24時間体制の常備消防活動を維持運用するため、消防業務の企画や調整、消防施設の管理及び消防職員の士気や知識の向上、被服等貸与及び安全管理等を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>消防長会、府立消防学校、消防・防災関連会議等への出席調整、制服等職員貸与品の購入、事務用品、コピー、電話代金支払い等の事務を行った。</p> <p>消防活動に万全の体制で対応できるよう、職員の健康管理・増進事業について積極的に取り組んだ。</p> <p>東日本大震災発生により、緊急消防援助隊を被災地に派遣し、救急活動等を行う体制を整えた。</p> <p>消防職員 消防吏員93人 事務吏員1人 計94人(平成23年3月末日)</p> <p>【主な支出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費 359千円 消防長会、消防職員意見発表会、消防無線デジタル化会議等 ・消耗品費 4,573千円 現任職員貸与被服等購入(制服、作業服、革手袋ほか) 1,451千円 新採用職員2人貸与被服等購入(制服、作業服、保安帽ほか) 1,181千円 コピー代、法令関係図書、事務用品等 1,941千円 ・通信運搬費 1,416千円 NTT電話料金(署所一般基本料・通話料、携帯電話基本料・通話料)、メール便等料金、久美浜有線放送料金等 ・肝炎ウィルス検診委託料(新採用職員2人ほか) 62千円 ・職員健康診断委託料 704千円 潜水業務健康診断(16人)、B・C型肝炎抗体検査(86人) 労働安全衛生法に基づく消防職員第2回目健康診断料(74人)ほか ・コピー機、印刷機使用料、テレビ受信料等 561千円 ・全国消防長会等負担金等 433千円 ・その他事務経費 292千円 			
主な財源				
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の消防活動に対する期待が高まり、業務が高度・専門化するなか、365日24時間体制の常備消防活動の維持運用を行うことができた。 ・緊急消防援助隊が被災地で、救急活動等行うことができた。 ・事務・消耗品等の発注は、本部総務課で一括で行うなど経費の削減に努めた。 ・消防職員として必要な健康管理や増進事業について、経費を抑え積極的に取り組めた。 			
事業所管課	消防本部/総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	03消防訓練・研修業務
細事業名	01 救急救命士養成業務			決算書 P.290
総合計画	基本方針	うらおい安全都市	計画項目	消防・防災体制の強化
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率
4,146千円		4,209千円	63千円	98.5%
目的	医師の指示の下、救急車で救急救命処置が行える救急救命士を、常時乗車させて活動させることができるよう計画的な養成及び気管挿管が可能な認定救命士の養成を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成5年から毎年1人ずつ救急救命士を新規養成しており、平成22年度は1人を養成した。気管・挿管実習等に職員派遣を行った。平成23年3月末日現在、救急救命士は、運用救命士17人(うち認定救命士7人)である。</p> <p>【主な支出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別旅費 801千円 救急救命士養成関係、気管挿管・薬剤投与追加研修等 ・職員研修委託料 440千円 救急救命士資格取得後病院研修委託(受講者1人) 5千円×20日×1人 100千円 ・現任救急救命士病院研修委託(受講者17人) 340千円 5千円/1人×延べ68人 ・救急救命士養成負担金 2,905千円 新規養成 救命士九州研修所派遣(1人 9月~3月) 2,010千円 薬剤投与追加講習 九州研修所派遣(1人 7月~8月) 230千円 気管挿管・薬剤投与追加講習派遣(1人 1月~2月) 270千円 薬剤投与 病院実習(1人) 95千円 気管挿管 病院実習(1人) 300千円 			
主な財源				
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の救急救命士に対する期待も高く、出動件数は、平成22年2,450件(平成21年2,187件263件、12.0%の増)、搬送人数は、平成22年2,303人(平成21年2,086人 217人、10.4%の増)と増加している。市民の生命を守るため、救急救命士を今後も計画的に養成していく。 			
事業所管課	消防本部/総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	03消防訓練・研修業務
細事業名	02 消防学校等研修派遣業務			決算書 P.290
総合計画	基本方針	うらおい安全都市	計画項目	消防・防災体制の強化
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率
3,152千円		3,310千円	158千円	95.2%
目的	複雑多様化する消防業務に対応するため、災害救助、救急訓練及び研修等に参加し、最新の専門技術や知識を学ぶとともに、消防活動に必要な各種資格を取得する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京都府立消防学校や消防大学校専科教育及び府消防長会等が主催する各種研修会等に、計画的及び積極的に参加し、消防職員としての資質向上を図った。</p> <p>【主な支出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費 1,701千円 府立消防学校及び消防大学校の入学、各種専科教育、各種研修会、講習会、京都府消防救助選抜会等 ・消防学校専科等研修負担金 1,014千円 府立消防学校（八幡市）初任教育入学（2人 4月～11月） 消防団指導科（2人）初級幹部科（2人）予防査察科（2人） 救助科（2人）救急科（2人）危険物科（2人）特別教育（1人） 消防大学校（東京都）新任消防長科（1人 5月～6月） 上級幹部科（1人 1月～2月） ・各種講習会受講負担金 223千円 ロープレスキュー（2人）、陸上特殊無線技師（1人）、 潜水士（1人）、玉掛け技能（2人）、ガス溶接技能（2人）、 小型移動式クレーン運転（2人）計10人 ・大型自動車免許取得補助金（2人） 102千円 51千円×2人 ・その他の研修経費等 112千円 			
主な財源				
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる場面を想定した災害・救助救急訓練、研修等に参加し、最先端の高度・専門技能や知識を学ぶことで、職員の資質を向上させることができた。 ・東日本大震災発生により、広範囲にわたる大規模災害等を想定した研修会等に積極的に参加する。 			
事業所管課	消防本部 / 総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	04予防・警防等業務
細事業名	01 予防・警防等業務			決算書 P.290
総合計画	基本方針	うらおい安全都市	計画項目	消防・防災体制の強化
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率
5,169千円		5,417千円	248千円	95.4%
目的	住宅用火災警報器普及に積極的に取り組み、火災予防のためチラシ等の作成配布、防火講習会を行い、事業所等への立ち入り検査等の実施。消防活動に必要な資機材の整備を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>住宅用火災警報器普及推進のため、消防職員全員によるチラシ配布及び説明を行った。火災の発生防止のために、防火チラシの作成配布、防火ポスターの募集及び防火座談会等を開催するなど啓発活動を行った。また、事業所等の立ち入り検査・指導等を行った。</p> <p>消防活動に必要な資機材の備蓄購入等を行い、東日本大震災発生により、急遽必要となった緊急消防援助隊の食糧及び物品購入を行った。</p> <p>【主な支出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報償費 80千円 防火ポスター表彰記念品等（586人） ・消耗品費 2,136千円 防火管理者資格取得講習会テキスト購入（ ・ ）ほか 住宅用火災警報器普及推進物品、緊急消防援助隊装備物品 新型インフルエンザ感染防護資機材等 ・食糧費 163千円 緊急消防援助隊食糧等 ・印刷製本費 370千円 秋・冬火災予防運動啓発ピラ 計42,000枚 「火災予防運動防火ポスター」印刷900枚（市内小学4年生の入選図画使用） 住宅用火災警報器普及啓発用印刷物等 ・修繕料 1,112千円 高圧空気圧縮設備修理 ホルマトロエンジンポンプオーバーホール等 ・原材料費 165千円 火災予防運動用工作物材料費（塗料、塩ビパイプ、L型鋼等） ・備品購入費 643千円 消防活動用資機材等（消防用ホース、分岐管、火災予防啓発DVD等） ・その他経費等 500千円 			
主な財源	手数料 消防手数料			810千円
	諸収入 防火管理者資格取得講習料			388千円
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅用火災警報器普及のため、消防職員全員で市民へ説明やアンケートを行い、設置普及率の向上に努めた。火災発生件数は、昨年度より増加しており火災防止啓発にさらに努める必要がある。（平成20年 18件、平成21年 12件、平成22年 21件） ・東日本大震災への緊急消防援助隊派遣活動に必要な食糧費等の購入を行ったが、今後、遠方への長期派遣を想定した装備等を計画的に整備していく。 			
事業所管課	消防本部 / 総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	05救急業務		
細事業名	01 救急活動業務			決算書	P.290	
総合計画	基本方針	うらおい安全都市		計画項目	消防・防災体制の強化	
決算額		最終予算額		不用額 (-)	執行率	
6,064千円		6,239千円		175千円	97.1%	
目的	24時間体制で行う救急活動及び資機材の整備や保守を行い、救急救命士が医師からの指示を受ける救命指示センターと連携を図る。丹後MC協議会を通じ救急活動の検証を行う。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>迅速かつ的確な救急業務を行うため、資機材等の整備充実と職員の資質向上に努めた。救急出動件数は、平成20年は2,173件、平成21年は2,187件、平成22年は2,450件（前年比263件、12.0%の増）、搬送人員は、平成20年は2,045人、平成21年は2,086人、平成22年は2,303人（前年比217人、10.4%の増）と増加している。</p> <p>東日本大震災の発生により被災地に緊急消防援助隊を3月11日から4月2日まで（23日間）、32人（延べ153人）派遣し救急活動等を行った。</p> <p>C型肝炎、新型インフルエンザなどに対する感染防止への対応強化を行った。</p> <p>【主な支出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費 975千円 救急管外搬送、緊急消防援助隊旅費 ・消耗品 2,415千円 滅菌ガーゼ・毛布など救急活動で使用する消耗品 現場用ゴム手袋を始め、使い捨てを基本とするものやAEDバッテリー等の耐用年限経過による交換が必要な消耗品 ・クリーニング手数料（救急業務で使用した毛布等） 75千円 ・産業廃棄物処理手数料（救急業務により生じたガーゼ等の汚物処理） 45千円 ・京都市救急指示センター委託料 1,533千円 24時間体制で医師が1人待機し、救急救命士の救命行為に指示 ・高度救急医療器材定期点検保守委託料 628千円 除細動器、患者監視装置などの医療器材を年2回の整備保守 ・丹後メディカルコントロール協議会負担金 120千円 救命救急業務向上のため、北丹医師会、与謝医師会、救急指定4病院、丹後保健所、丹後広域振興局と連携し協議会を組織 ・その他経費等 273千円 					
主な財源						
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・身体・財産を守り、安心、安全の京丹後市をつくるため、365日24時間体制で救急要請を受け、出動した。ドクターヘリ体制が導入されるなど、今後益々高度化される救命救急体制の対応が必要となり訓練等の充実が必要となっている。 ・感染防止の対応強化が必要となり、使い捨てする救急消耗品の使用も増加している。 ・東日本大震災発生により被災地に緊急消防援助隊を派遣し救急活動等を行った。 					
事業所管課	消防本部 / 総務課					

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	05救急業務		
細事業名	02 救命啓発業務			決算書	P.290	
総合計画	基本方針	うらおい安全都市		計画項目	消防・防災体制の強化	
決算額		最終予算額		不用額 (-)	執行率	
97千円		103千円		6千円	94.1%	
目的	市民及び事業所に対して、負傷や急病に対する応急手当の正しい知識と技術の普及を目的とする。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>「応急手当の実施」「早い通報」ができる市民を養成する救命講習会を開催するとともに、上級救命講習を終了した従業員が常駐する事業所や施設を「救マーク認定事業所」として認定し、救マークを掲示することにより事業所等の応急手当の普及啓発を推進した。</p> <p>【主な支出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品 77千円 応急手当講習を有効に実施するために必要な物品 ハイテイスボクロス（人口呼吸用マウスガーゼ） AEDパッドシール、AEDトレーニングパッド ・備品購入費 20千円 応急手当講習を有効に実施するために練習用心臓マッサージ人形1体 					
主な財源						
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民対象に救命率を上げるため救命講習会を82回開催し、1,995人が受講された。また、上級救命講習（8時間）を終了した従業員がいる事業所等に「救マーク事業所」として認定した。現在、救マーク事業所は、89事業所である。 ・病气やけがをされた方を医師や救急隊員に引き継ぐまでの応急手当を行う知識と技術を習得していただくため、市民の皆さんや事業所等を対象に救命講習会を行う。 					
事業所管課	消防本部 / 総務課					

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	06通信指令業務		
細事業名	01 通信指令業務			決算書	P.292	
総合計画	基本方針	うらおい安全都市		計画項目	消防・防災体制の強化	
決算額		最終予算額		不用額 (-)	執行率	
27,856千円		28,176千円		320千円	98.8%	
目的	365日24時間体制で市民等からの火災・救急及び救助等の緊急要請を受ける119番通信指令システムに不具合が生じないように、常に適切な保守や整備等の維持管理を行う。					
主要な事務・事業及び成果の概要	365日24時間体制で市民等からの火災・救急等の通報を受け、コンピュータ制御による地図検索装置と発信地表示装置を活用し、すばやく災害の発生地点を特定、必要な消防車両等の出動指令、防災無線広報など災害対応を行った。 119番通信指令システムに不具合が生じないように、定期的な保守点検に努め、適切な維持管理を行った。					
	【主な支出】 <ul style="list-style-type: none"> ・報償費（防災用音声合成装置吹き込み謝金（毎月1回）） 39千円 ・消耗品費 438千円 携帯無線機用電池パック、プリンタートナー、モニター用ケーブル等 ・修繕料 3,927千円 消防緊急通信指令施設定期保守交換部品費等 ・通信運搬費（NTT専用回線料） 4,709千円 指令回線（署所音声指令用、地図伝送用）119番受信回線 ・委託料 17,432千円 消防緊急通信指令施設保守業務委託料 8,368千円 消防救急無線デジタル化電波伝搬調査・基本設計委託料 3,266千円 緊急通報用電話発信地表示システム運行委託料 2,613千円 位置情報通知システム（統合型）整備委託料 2,100千円 （携帯電話119番受信時に発信地が特定できるシステム） 聴覚言語障害者用緊急システム運行委託料等 600千円 （聴覚言語障害者の方が携帯電話を使って「119番通報」できるシステム） 消防救急無線定期検査委託料等 485千円 ・使用料及び賃借料 消防本部パソコン借上料 1,306千円 ・その他経費 5千円 					
主な財源	府補	未来づくり交付金（消防救急無線デジタル化電波伝搬調査事業）			1,620千円	
	諸収入	光アクセスシステム装置電気料			20千円	
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民等から増加する119番受信件数に対して、コンピュータ制御のシステムに支障をきたすことなく、すばやく災害対応をすることができた。119番受信件数は、平成22年3,693件（平成21年 3,406件 287件、8.4%の増）である。 ・器材の経年劣化による修繕、交換は避けられないので、今後も計画的に整備することが必要である。 					
事業所管課		消防本部 / 総務課				

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	07庁舎等維持管理事業		
細事業名	01 庁舎等維持管理事業			決算書	P.292	
総合計画	基本方針	うらおい安全都市		計画項目	消防・防災体制の強化	
決算額		最終予算額		不用額 (-)	執行率	
17,273千円		17,575千円		302千円	98.2%	
目的	火災・救急等に備える施設である消防庁舎、消防車両等について、適切な維持管理及び保守点検等を行う。					
主要な事務・事業及び成果の概要	消防庁舎は、火災・救急活動等に備える施設であり、職員が適切に活動できるよう職場環境の整備をする必要がある。また、消防車両は、災害現場の第一線で活躍する車両であり、何時災害が発生しても万全の状態にしておくため、その機能、安全性の保守整備に努める必要がある。 東日本大震災発生により緊急消防援助隊を被災地に派遣し、必要な経費を支出した。					
	【主な支出】 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費（トイレトーパー・蛍光管・洗剤等） 441千円 ・燃料費 5,109千円 車両関係燃料（ガソリン・軽油代） 4,266千円 施設関係燃料（灯油、ガス代） 843千円 ・光熱水費（消防本部ほか3署所の電気料金・上下水道料金） 7,131千円 ・修繕料 2,679千円 施設関係修繕（仮眠室エアコン、トイレブース修繕ほか） 576千円 車両関係修繕（18台） 2,103千円 車検（5台）・定期点検（3か月（大型のみ）、6・12か月）修理ほか ・公用車車検経費5台分（自動車登録手数料、自動車重量税） 475千円 ・施設清掃委託料（署所床面清掃委託料 剥離、洗浄、ワックス掛け） 189千円 ・通信指令室空調設備保守点検業務委託料 32千円 ・自家用電気工作物保安管理委託料（キュービクル設備等保安管理費） 126千円 ・自動車損害保険料（18台） 633千円 ・清掃用具借上料（モップ・マット 4署所） 318千円 ・その他経費等 140千円 					
主な財源						
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・365日24時間職員が適切に活動できるよう消防庁舎の環境整備をすることができた。また、消防車両は、火災・救急、災害等発生の際、適切に出動することができた。現在、消防庁舎4か所（峰山消防署、網野分署、久美浜分署、竹野川分遣所）、車両18台（救急車5台、化学車1台、消防ポンプ車3台、救助工作車1台、指令車1台、電源照明車1台、資機材搬送車1台、指令広報車1台、広報車3台、事務連絡車1台）である。 					
事業所管課		消防本部 / 総務課				

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	02非常備消防施設等整備事業											
細事業名	02 消防車庫等整備事業			決算書 P.296											
総合計画	基本方針	うるおい安全都市	計画項目	消防・防災体制の強化											
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率											
18,361千円		18,370千円	9千円	99.9%											
目的	消防車庫について、老朽化の状況や地元要望等を考慮して順次整備する。														
主要な事務・事業及び成果の概要	老朽化した消防車庫を地域の消防団拠点施設として、待機所を併設して更新整備を行った。														
	<table border="0"> <tr> <td>消防車庫兼待機所（消防団拠点施設）新築工事</td> <td>18,361千円</td> </tr> <tr> <td>整備場所 久美浜町浦明（久美浜第4分団第2部） 鉄骨造瓦葺2階建 建築面積41.44㎡、延床面積82.88㎡ 場所を長柄から浦明に変更</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>16,571千円</td> </tr> <tr> <td>設計監理委託料</td> <td>1,488千円</td> </tr> <tr> <td>諸経費</td> <td>302千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">（建築確認申請手数料、水道関係各手数料、上下水道加入分担金）</td> </tr> </table>				消防車庫兼待機所（消防団拠点施設）新築工事	18,361千円	整備場所 久美浜町浦明（久美浜第4分団第2部） 鉄骨造瓦葺2階建 建築面積41.44㎡、延床面積82.88㎡ 場所を長柄から浦明に変更		工事請負費	16,571千円	設計監理委託料	1,488千円	諸経費	302千円	（建築確認申請手数料、水道関係各手数料、上下水道加入分担金）
消防車庫兼待機所（消防団拠点施設）新築工事	18,361千円														
整備場所 久美浜町浦明（久美浜第4分団第2部） 鉄骨造瓦葺2階建 建築面積41.44㎡、延床面積82.88㎡ 場所を長柄から浦明に変更															
工事請負費	16,571千円														
設計監理委託料	1,488千円														
諸経費	302千円														
（建築確認申請手数料、水道関係各手数料、上下水道加入分担金）															
主な財源	市債	消防防災施設整備事業債（過疎対策債）	16,300千円												
	府補	地域防災力総合支援整備事業補助金（1/3）	2,000千円												
評価・課題等	計画的な更新を進める一方、組織再編とともに整備計画も検討する必要がある。														
事業所管課	企画総務部 / 総務課														

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	04消防設備維持管理事業																													
細事業名	01 消防設備維持管理事業			決算書 P.296																													
総合計画	基本方針	うるおい安全都市	計画項目	消防・防災体制の強化																													
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率																													
16,143千円		16,144千円	1千円	99.9%																													
目的	消火活動に必要な消火栓の維持管理費用として、設置数に応じて簡易水道事業特別会計及び水道事業会計へ繰り出す。																																
主要な事務・事業及び成果の概要	消火活動に欠かせない消火栓の維持管理費として、消火栓の箇所数に応じて水道事業会計及び簡易水道事業特別会計への繰出金を支出した。																																
	<table border="0"> <tr> <td>水道事業会計分</td> <td>5,400円×1,249基</td> <td>6,745千円</td> </tr> <tr> <td>簡易水道事業特別会計分</td> <td>4,800円×1,958基</td> <td>9,398千円</td> </tr> </table> <p>【消火栓の維持管理、設置内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>水道会計 管理基数</th> <th>簡水会計 管理基数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町</td> <td>444</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>288</td> <td>199</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>378</td> <td>219</td> </tr> <tr> <td>丹後町</td> <td>139</td> <td>239</td> </tr> <tr> <td>弥栄町</td> <td></td> <td>353</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td></td> <td>941</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,249</td> <td>1,958</td> </tr> </tbody> </table>				水道事業会計分	5,400円×1,249基	6,745千円	簡易水道事業特別会計分	4,800円×1,958基	9,398千円	区分	水道会計 管理基数	簡水会計 管理基数	峰山町	444	7	大宮町	288	199	網野町	378	219	丹後町	139	239	弥栄町		353	久美浜町		941	合計	1,249
水道事業会計分	5,400円×1,249基	6,745千円																															
簡易水道事業特別会計分	4,800円×1,958基	9,398千円																															
区分	水道会計 管理基数	簡水会計 管理基数																															
峰山町	444	7																															
大宮町	288	199																															
網野町	378	219																															
丹後町	139	239																															
弥栄町		353																															
久美浜町		941																															
合計	1,249	1,958																															
主な財源																																	
評価・課題等	上水道、簡易水道とも消火栓1基当たりの単価により繰り出しており、設置数の増に伴い繰出金も増加していく。																																
事業所管課	企画総務部 / 総務課																																

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	03消防団活動運営事業
細事業名	01 消防団活動運営事業			決算書 P.294
総合計画	基本方針	うるおい安全都市	計画項目	消防・防災体制の強化
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率
130,916千円		132,478千円	1,562千円	98.8%
目的	消防団員としての出勤、資質向上や技能習得のために必要な訓練及び活動等のほか、消防車両等の維持管理を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	消防団の運営及び活動に対する経費で、分団・部等の運営費及び出勤手当のほか、消防車両等の維持管理経費等を支出した。			
	消防団運営活動謝金	24,713千円	(本部、分団、部、指導員、ラッパ鼓隊、女性団員)	
	操法訓練謝金・大会関連経費	9,431千円		
	消防団員定例表彰等に係る表彰状・表彰徽章等	263千円		
	消防団出勤手当・訓練手当、職員旅費等	24,723千円		
	消耗品費(活動服、ヘルメット、長靴等)	4,024千円		
	消防車両維持管理経費(88台分)	13,428千円	(燃料代1,727千円、修繕料7,710千円、自動車重量税1,451千円、保険料1,760千円、車検代行料ほか780千円)	
	消防車庫維持管理経費(120施設分)	2,804千円	(電気・水道代2,666千円、し尿汲取手数料33千円、火災保険料105千円)	
	ポンプ自動車(38台分)・小型ポンプ(26台分)点検委託料	439千円		
	消防学校入校、大会参加バス借上料等	599千円		
	出初式(丹後文化会館)会場借上料等式典経費	101千円		
	辞令交付式(アミィ丹後)会場借上料	46千円		
	防火水槽、消防車庫、消防ポンプ格納庫等土地借上料(11か所、2,543.34㎡)	139千円		
	火災予防ステッカー・啓発チラシ作成経費	117千円		
	消防団員福祉共済掛金(3,000円×1,756人)	5,268千円		
消防団活動費補助金	43,804千円			
京都府消防協会京丹後市支部補助金	365千円			
消火栓ボックス等ごみ処理手数料、関電柱・NTT柱サイレン共架料ほか	34千円			
消防車両事故による賠償金ほか	618千円			
主な財源	諸収入	市有自動車損害共済金	426千円	
評価・課題等	消防団の運営に対する支援や維持管理はできているが、組織や資機材の配置に係る再編を検討・実施するよう進めていく予定である。			
事業所管課	企画総務部/総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	02団員退職報償金
細事業名	01 団員退職報償金			決算書 P.294
総合計画	基本方針	うるおい安全都市	計画項目	消防・防災体制の強化
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率
84,345千円		84,345千円	0千円	100.0%
目的	5年以上在職して退職した消防団員に対する慰労金として、その団員の在職年数や階級に応じて支給する。また、その支給のための掛金を基金に支払う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	消防団員が、5年以上在職して退職した場合に退職報償金が支給される。退職報償金は、消防団員の労苦に対する慰労金としての性格を持つもので、その団員の在職年数や階級に応じて支出した。			
	退職報償金(173人分)	49,689千円		
	消防団員退職報償金掛金(条例定数1,805人×定額19,200円) 消防団員等公務災害補償等共済基金への掛金	34,656千円		
主な財源	諸収入	消防団員退職報償金	49,689千円	
評価・課題等	消防組織法(昭和22年法律第226号)第25条の規定に基づき交付するもの。			
事業所管課	企画総務部/総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	01団員報酬・公務災害補償費等
細事業名	02 公務災害補償費等			決算書 P.294
総合計画	基本方針	うるおい安全都市	計画項目	消防・防災体制の強化
決算額	最終予算額		不用額 (-)	執行率
3,792千円	3,795千円		3千円	99.9%
目的	消防団員等が公務上の災害を受けた場合に損害賠償や災害補償を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>公務災害補償制度（消防団員等公務災害補償等共済基金）や住民参加の防火訓練における災害補償制度（日本消防協会）を活用し、消防団員等が火災や訓練での公務上の災害を受けた場合の損害賠償や災害補償を支出した。</p> <p>公務災害補償費 消防団員4人分・消火作業協力者1人分 81千円</p> <p>消防団員公務災害補償費掛金 3,649千円 （条例定数1,805人、消防、水防作業62,723人） 掛金 団員 1,900円/人 消防・水防作業 3.5円/人</p> <p>防火防災訓練災害補償費掛金 62千円 62,723人（平成17年国勢調査人口×1円）</p>			
主な財源	諸収入 消防団員公務災害補償金			78千円
評価・課題等	制度に基づく事業内容を継続する。			
事業所管課	企画総務部 / 総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	01団員報酬・公務災害補償費等																																																																																																
細事業名	01 団員報酬			決算書 P.294																																																																																																
総合計画	基本方針	うるおい安全都市	計画項目	消防・防災体制の強化																																																																																																
決算額	最終予算額		不用額 (-)	執行率																																																																																																
43,804千円	43,805千円		1千円	99.9%																																																																																																
目的	消防団条例に基づき、階級ごとの報酬を支給する。																																																																																																			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>団員報酬（年2回支払） 43,804千円</p> <p>団員一人当たりの階級別年間報酬額</p> <table border="1"> <tr> <td>団長</td> <td>189千円</td> <td>指導員</td> <td>50千円</td> </tr> <tr> <td>副団長</td> <td>123千円</td> <td>部長</td> <td>43千円</td> </tr> <tr> <td>分団長</td> <td>96千円</td> <td>班長</td> <td>33千円</td> </tr> <tr> <td>副分団長</td> <td>57千円</td> <td>団員</td> <td>19千円</td> </tr> </table> <p>（参考）京丹後市消防団員数内訳（条例定員：1,805人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>16年度</th> <th>17年度</th> <th>18年度</th> <th>19年度</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本部</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>16</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>峰山町</td> <td>370</td> <td>368</td> <td>362</td> <td>362</td> <td>360</td> <td>361</td> <td>361</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>289</td> <td>290</td> <td>287</td> <td>284</td> <td>285</td> <td>283</td> <td>284</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>423</td> <td>419</td> <td>418</td> <td>418</td> <td>410</td> <td>414</td> <td>411</td> </tr> <tr> <td>丹後町</td> <td>239</td> <td>242</td> <td>242</td> <td>239</td> <td>238</td> <td>238</td> <td>234</td> </tr> <tr> <td>弥栄町</td> <td>218</td> <td>218</td> <td>216</td> <td>213</td> <td>210</td> <td>212</td> <td>211</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td>242</td> <td>241</td> <td>240</td> <td>240</td> <td>240</td> <td>239</td> <td>241</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,792</td> <td>1,789</td> <td>1,779</td> <td>1,769</td> <td>1,759</td> <td>1,761</td> <td>1,756</td> </tr> <tr> <td>不足数</td> <td>13</td> <td>16</td> <td>26</td> <td>36</td> <td>46</td> <td>44</td> <td>49</td> </tr> </tbody> </table> <p>*本部は団長、女性消防団員（各年4月1日現在）</p>				団長	189千円	指導員	50千円	副団長	123千円	部長	43千円	分団長	96千円	班長	33千円	副分団長	57千円	団員	19千円	年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	本部	11	11	14	13	16	14	14	峰山町	370	368	362	362	360	361	361	大宮町	289	290	287	284	285	283	284	網野町	423	419	418	418	410	414	411	丹後町	239	242	242	239	238	238	234	弥栄町	218	218	216	213	210	212	211	久美浜町	242	241	240	240	240	239	241	合計	1,792	1,789	1,779	1,769	1,759	1,761	1,756	不足数	13	16	26	36	46	44	49
団長	189千円	指導員	50千円																																																																																																	
副団長	123千円	部長	43千円																																																																																																	
分団長	96千円	班長	33千円																																																																																																	
副分団長	57千円	団員	19千円																																																																																																	
年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度																																																																																													
本部	11	11	14	13	16	14	14																																																																																													
峰山町	370	368	362	362	360	361	361																																																																																													
大宮町	289	290	287	284	285	283	284																																																																																													
網野町	423	419	418	418	410	414	411																																																																																													
丹後町	239	242	242	239	238	238	234																																																																																													
弥栄町	218	218	216	213	210	212	211																																																																																													
久美浜町	242	241	240	240	240	239	241																																																																																													
合計	1,792	1,789	1,779	1,769	1,759	1,761	1,756																																																																																													
不足数	13	16	26	36	46	44	49																																																																																													
主な財源																																																																																																				
評価・課題等	条例に基づいた支給を行った。																																																																																																			
事業所管課	企画総務部 / 総務課																																																																																																			

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	04消火栓整備事業
細事業名	02 消火栓ボックス等整備事業			決算書 P.298
総合計画	基本方針	うるおい安全都市	計画項目	消防・防災体制の強化
決算額	最終予算額		不用額 (-)	執行率
1,694千円	1,700千円		6千円	99.6%

目的 消火栓の新設及び老朽化に伴う消火栓備品を設置・更新する。

主要な事務・事業及び成果の概要 消火栓は、初期消火に大変重要な設備で、迅速かつ効果的に使用するためには消火栓備品の配備が不可欠である。そのため、区からの要望等を踏まえ、消火栓ボックスの新設箇所や老朽化した箇所の消火栓備品の整備を次のとおり行った。

消火栓備品 1,694 千円

品名	単位	数量
屋外型ホース格納箱	台	38
屋外型ホース格納箱用架台	台	34
消火栓用ホース	本	80
管鎗(ストレートノズル)	本	17
消火栓開閉ハンドル(地上式用)	本	2
消火栓開閉ハンドル(地下式用)	本	15
単口式スタンドタイプ(地下式用)	本	19

主な財源 府補 未来づくり交付金(消火栓ボックス整備事業) 800千円

評価・課題等 消防団等の点検確認や地元要望等に基づき計画的に整備しており、地域の防火対策上、今後も引き続き整備していく必要がある。

事業所管課 企画総務部/総務課

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	04消火栓整備事業
細事業名	01 消火栓設置事業			決算書 P.298
総合計画	基本方針	うるおい安全都市	計画項目	消防・防災体制の強化
決算額	最終予算額		不用額 (-)	執行率
1,350千円	1,500千円		150千円	90.0%

目的 初期消火等到大変有効な消火栓の設置等について、地区要望及び周辺の水利状況等を考慮し、計画的に整備する。

主要な事務・事業及び成果の概要

水道事業消火栓更新負担金 大宮町河辺地内 地下式消火栓新設2基分	900千円
簡易水道事業消火栓更新負担金 久美浜町永留地内 地下式消火栓新設1基分	450千円

【参考】 6,465千円
地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業による整備分(地区要望及び必要箇所)

	新設		改修		合計
	地下式	地上式	地下式	地上式	
峰山	0	0	0	0	0
大宮	1	0	2	0	3
網野	0	0	0	3	3
丹後	0	0	0	5	5
弥栄	0	0	0	0	0
久美浜	2	2	0	0	4
合計	3	2	2	8	15

主な財源

評価・課題等 住宅街などの消防水利の不足した地域への新設と併せ、老朽化した消火栓も増えており、今後も事業を継続する必要がある。

事業所管課 企画総務部/総務課

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	02非常備消防施設等整備事業
細事業名	03 消防資機材等整備事業			決算書 P.296
総合計画	基本方針	うるおい安全都市	計画項目	消防・防災体制の強化
決算額	最終予算額		不用額 (-)	執行率
1,402千円	1,430千円		28千円	98.0%
目的	小型動力ポンプについて、老朽化の状況等を考慮して順次整備する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>21年間の経年劣化により故障した弥栄第4分団第2部（木橋区）の小型ポンプについて、部品の製造終了等により修理対応ができない状態であったことから、火災等の有事に備え更新整備を行った。</p> <p>小型動力ポンプ（B-3級） 計 1,402千円 吸水管 75mm×6m 消防用ホース 3本 消火栓開閉金具 管鎗 噴霧ノズル 充電器 ほか付属品</p>			
主な財源	市債 消防資機材整備事業債（合併特例債）			1,300千円
評価・課題等	計画的な更新を進める一方、組織再編とともに整備計画も検討する必要がある。			
事業所管課	企画総務部 / 総務課			

予算科目	08土木費	03河川費	01河川総務費	01急傾斜地崩壊対策事業																																
細事業名	01 急傾斜地崩壊対策事業			決算書 P.276																																
総合計画	基本方針	うるおい安全都市	計画項目	消防・防災体制の強化																																
決算額	最終予算額		不用額 (-)	執行率																																
28,242千円	28,242千円		0千円	100.0%																																
目的	住宅地背後の急峻な崖地の崩壊の危険を解消し、市民の人命及び財産を守るため急傾斜地崩壊・防災対策事業を推進する。																																			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>住宅地背後の急峻で危険な崖地のある市内5地区（5か所）の急傾斜地において、急傾斜地崩壊対策事業を実施したことによって崖地崩壊を未然に防止するとともに、人命及び財産を守ることができた。</p> <p>急傾斜地崩壊・防災対策事業等負担金 28,242千円 京都府負担金：5地区分 事業費361,537千円×市負担率（5/100～20/100）</p> <p>（実施事業等） (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>箇所名</th> <th>事業費</th> <th>市負担額</th> <th>地元分担当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">急傾斜地崩壊対策事業</td> <td>網野町新庄</td> <td>140,000</td> <td>14,000</td> <td>2,800</td> </tr> <tr> <td>丹後町間人谷</td> <td>55,262</td> <td>2,763</td> <td>1,105</td> </tr> <tr> <td>久美浜町神谷</td> <td>3,169</td> <td>158</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>久美浜町河梨</td> <td>142,000</td> <td>7,100</td> <td>2,700</td> </tr> <tr> <td>急傾斜地防災対策事業</td> <td>大宮町口大野</td> <td>21,106</td> <td>4,221</td> <td>422</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>361,537</td> <td>28,242</td> <td>7,091</td> </tr> </tbody> </table>				事業名	箇所名	事業費	市負担額	地元分担当	急傾斜地崩壊対策事業	網野町新庄	140,000	14,000	2,800	丹後町間人谷	55,262	2,763	1,105	久美浜町神谷	3,169	158	64	久美浜町河梨	142,000	7,100	2,700	急傾斜地防災対策事業	大宮町口大野	21,106	4,221	422	合計		361,537	28,242	7,091
事業名	箇所名	事業費	市負担額	地元分担当																																
急傾斜地崩壊対策事業	網野町新庄	140,000	14,000	2,800																																
	丹後町間人谷	55,262	2,763	1,105																																
	久美浜町神谷	3,169	158	64																																
	久美浜町河梨	142,000	7,100	2,700																																
急傾斜地防災対策事業	大宮町口大野	21,106	4,221	422																																
合計		361,537	28,242	7,091																																
主な財源	分担金 急傾斜地崩壊対策事業費等分担金			7,091千円																																
	市債 急傾斜地崩壊対策事業債（防災対策事業債）			3,700千円																																
	市債 急傾斜地崩壊対策事業債（未来づくり資金）			15,600千円																																
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主体である京都府の年次計画に沿って要望の高い危険な地区において事業を実施し、順次その崖地崩壊の危険を解消している。 ・市内に多数存在する危険な急傾斜地において、より多くの事業実施が図られるよう京都府に対し継続的に事業実施を求めていく必要がある。 																																			
事業所管課	建設部 / 管理課																																			

予算科目	09消防費	01消防費	04災害対策費	02防災行政無線維持管理事業
細事業名	01 防災行政無線維持管理事業（線越）			決算書 P.300
総合計画	基本方針	うるおい安全都市	計画項目	消防・防災体制の強化
決算額		最終予算額	不用額（-）	執行率
4,305千円		4,320千円	15千円	99.6%

目的 緊急情報を衛星系ネットワーク・地上系ネットワーク経由で受信し、住民に伝える。

主要な事務・事業及び成果の概要

平成21年度線越事業として、消防庁の音声機能システム改修に伴い、自動起動機及び小型受信機を更新した。

自動起動機、小型受信機購入 4,305 千円
京丹後市役所峰山庁舎の無線室に設置し、地震・津波・ゲリラ豪雨等の情報について、平成23年2月15日より運用を開始している。

主な財源 府補 京都府防災情報通信設備整備事業交付金（10/10） 4,305千円

評価・課題等

音声機能の改修により、状況に応じた放送を行うことができることとなった。また、消防庁と直接接続するため、オンラインによるソフトウェアのバージョンアップが可能となった。

事業所管課 企画総務部 / 総務課

予算科目	09消防費	01消防費	04災害対策費	02防災行政無線維持管理事業
細事業名	01 防災行政無線維持管理事業			決算書 P.298
総合計画	基本方針	うるおい安全都市	計画項目	消防・防災体制の強化
決算額		最終予算額	不用額（-）	執行率
42,091千円		42,661千円	570千円	98.6%

目的 防災行政無線施設及び設備等について、保守点検、修繕等により維持管理する。

主要な事務・事業及び成果の概要

平成20年度に整備した市防災行政無線に加え、以前からある峰山町・網野町・丹後町の同報系・移動系無線と、弥栄町の移動系無線について、日常の保守点検、維持管理を行った。

インクカートリッジほか消耗品 233千円
防災行政無線屋外拡声子局等電気代 2,319千円
小金山簡易中継局修理代（落雷による） 982千円
防災行政無線親局（峰山・丹後）・子局等修理、バッテリー交換等 7,172千円
防災行政無線（同報系）地区遠隔制御装置回線使用料等 3,045千円
（消防本部、福祉事務所を含む各庁舎間を結ぶ遠隔制御装置ほか）
移動系防災行政無線（峰山・網野）定期検査手数料 121千円
防災行政無線設備火災保険料 38千円
西山通信施設、小金山中継局周辺草刈委託料 149千円
戸別受信機設置等委託料 3,394千円
防災行政無線設備保守点検委託料 20,487千円
移動系防災行政無線（峰山・網野・弥栄）再免許申請業務委託料 645千円
防災行政無線敷地借上料（丹後町2か所 1,562㎡） 16千円
電波利用料（同報系・移動系） 2,657千円
防災行政無線等操作線関電柱共架料（網野町内） 3千円
戸別受信機購入代（丹後町分） 599千円
無線従事者養成講習会受講経費（職員2人分） 93千円
西山通信施設電気代負担金（京都府施設借用分） 138千円
戸別受信機利用台数

(H23.3.31現在、単位:台)	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計
	4,579	2,849	4,462	2,408	1,735	3,199	19,232

主な財源

評価・課題等

有事の際に、迅速かつ的確な情報を市民に周知するために、定期的な保守点検や修繕等を行っており、引き続き適正な維持管理が必要である。また、峰山・丹後管内の従来からのアナログ式設備をデジタル式に移行する検討が必要である。

事業所管課 企画総務部 / 総務課

予算科目	02総務費	01総務管理費	13諸費	01国民保護対策経費
細事業名	01 国民保護対策経費			決算書 P.106
総合計画	基本方針	計画推進のために	計画項目	効率的な行財政運営の推進
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率
4千円		4千円	0千円	100.0%
目的	武力攻撃事態等における国民の保護対策を検討する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成22年度京丹後市防災会議・国民保護協議会合同会議へ出席いただいた国民保護協議会委員への報酬を支出した。</p> <p>京丹後市国民保護協議会委員報酬 4千円 (1回1人分支出。防災会議との合同開催につき、他の民間委員は防災会議委員報酬から支出)</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催期日 平成23年3月18日 主な内容 講演「国民保護における自衛隊権限について」 			
主な財源				
評価・課題等	防災会議との合同会議により国民保護を取り巻く情勢に関する研修会を開催した。			
事業所管課	企画総務部 / 総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	04災害対策費	01防災会議運営事業
細事業名	01 防災会議運営事業			決算書 P.298
総合計画	基本方針	うらおい安全都市	計画項目	消防・防災体制の強化
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率
35千円		35千円	0千円	100.0%
目的	京丹後市防災計画の作成及びその実施を推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>防災会議を開催し、京丹後市地域防災計画の修正について御意見をいただくとともに、1月の豪雪時の対策、また東日本大震災の対応について説明を行った。 また、9人の方に京丹後市防災会議委員の委嘱を行った。</p> <p>開催日時 平成23年3月18日 出席委員数 22人(委員報酬対象8人) 内容 ・京丹後市地域防災計画修正について ・京丹後市防災会議委員の委嘱(9人)任期:平成23年10月29日</p> <p>委員報酬 8人×4千円 32千円 費用弁償 6人分 3千円</p>			
主な財源				
評価・課題等	会議開催は1回であり、委員報酬、費用弁償の支出にとどまった。今後は、会議の持ち方を工夫し、より活発な議論ができるよう改善が必要である。			
事業所管課	企画総務部 / 総務課			